

2026年度 第20回うるま市空手道古武道選手権大会要項

(県民スポーツ大会選手選考会)

趣旨：空手、古武道を修練している市民が日頃練磨している技を競い、相互の交流、親睦を図り空手道、古武道の普及に務める。

主催：うるま市スポーツ協会

共催：うるま市空手道古武道連盟

日時：2026年8月22日（土） 午前9時30分開会、9時45分競技開始

会場：前原高校武道場

出場資格：18歳以上（高校生不可）のうるま市民、（現住所又は本籍がうるま市にある者）及びうるま市内の道場所属者。

参加料：2,000円（全種目への重複出場可能）

申込み先及びお問い合わせ：うるま市スポーツ協会 ☎098-974-2540

うるま市役所 経済産業部 スポーツ課内

所定の用紙に必要事項を記入の上、参加料を添えて各道場、又は個人で申し込んでください。

締切り：2026年8月6日（木）午後3時（期日厳守）

競技規定：(公財)全日本空手道連盟競技規定、県民スポーツ大会空手道古武道競技規定及び当大会の申し合わせ事項に沿って行う。

競技種目

空手道：1. 一般男子形 2. 一般女子形 3. 壮年男子形
 4. 壮年女子形 5. 一般男子組手 6. 女子組手
 7. 壮年男子組手

古武道：1. 一般男子棒 2. 一般女子棒 3. 壮年男子棒
 4. 壮年女子棒 5. 一般男子サイ 6. 一般女子サイ
 7. 壮年男子サイ 8. 壮年女子サイ

*各競技の重複出場を認める

*空手形・古武道の部は採点方式とする。

注意事項

抽選：全競技とも抽選は本部抽選とし、古武道は即決勝とする。

選手：各種目の選手交代は認めない。

道着：空手道競技の道着の色は白のみとし、古武道着は各会派の道着を認める。(カラー可)

上着の袖の長さは、手首までとし、前腕の中程より短くてはならない。

上着の袖をまくってはならない。裾の長さは、少なくとも下肢の3分の2を覆うほどの長さとし、踝が隠れてはならない。裾をまくり上げてはならない。

女子選手の場合、道着の下に白無地のTシャツを着用してもよい。

組手競技では、ヘアクリップ、金属のヘアピンは禁止される。

形競技では、目立たないヘアクリップ、ゴムは認められるが、リボン及びその他の装飾は禁止される。

形・古武道競技においては落下防止措置があれば眼鏡をかけたままの演武を許可する。眼鏡が落下した場合は違反とする。

組手競技において眼鏡は禁止される。ソフトコンタクトレンズは、競技者自身の責任において使用してもよい。

空手道

形：形競技は、別表に記載されている形の中から毎回違う形を演武する。

トーナメント制フラッグ方式で行う。

組手：2026年度(公財)全日本空手道連盟競技規定により行う。

一般部は2分間の6ポイント先取、または試合終了時に得点の多い方を勝者とし、先取が成立している場合は判定を行わない。

壮年部は1分30秒の6ポイント先取、または試合終了時に得点の多い方を勝者とし、先取が成立している場合は判定を行わない。

安全具(ニューメンホー、拳サポーター、シンガード・インステップガード、ボディープロテクター、ファウルカップ(男子のみ))の着用を義務付ける。安全具はすべてWKF、全空連、学連、高体連指定の物を使用する。ボディープロテクターは道着

の中からの着用とする。安全具を使用しない者の組手競技への出場は認めない。
脚部サポーター、又はテーピングは競技前に審判長の許可を得なければならない。

古武道

採点方式とし、古武道型は別表に記載されている型の中から演武する。

サイを実際に投げることは禁止され、投げた場合は反則とする。

計量

棒：長さ 180cm 以上、重さは男子 900g 以上、女子 800 g 以上、形は丸形棒を使用する。

サイ：重さ男子一本 650g 以上、女子一本 550g 以上、形は沖縄伝統サイの形状とする。

* 武具に関しては当日、本部にて計量を行い、検査済みシールを貼る。検査済みシール以外のものを武具に貼りつけてはならない。武具に不審な点がある場合、コート監査が再度武具の検査を行う場合がある。

県民スポーツ大会出場資格：県民スポーツ大会代表選手は、沖縄県空手道連盟会員の中から選考される。

最重要注意事項：競技中の怪我、不慮の事故等の際、応急措置は主催者側で行うが、主催者側はそれ以上の責任は一切負わないものとする。大会での事故、障害については保険の適用範囲内でのみ対応される。